

■OpenChain Japan WG license-info-sg

日時:2019/07/24(水)15:00-17:00

場所:オリンパス(笹塚オフィス)

記載者:大内佳子

■出席者(敬称略)10名

伊藤(ルネサスエレクトロニクス)

遠藤(トヨタ)

日下部(デンソーテン)

小泉(オリンパス)

當麻(Pioneer)

福地(ソニー)

御子柴、大内、(富士通)

浅羽、岸波(富士通コンピュータテクノロジーズ)

■議事

1.SPDX Lite定義のSPDX制式化(pull request / review)

以下のコメントがあった。

- ・Forkじゃないのであれば、SPDXのMandatory項目は含めるべき
- ・必須とオプションを分けて記載すべき
- ・SPDXでオプションにしているものは、同じにするのがよい
(PackageVersion and PackageFileNameなど)
- ・Appendixに入れるのであれば、全員が知る必要がある
- ・SPDXの電話会議で紹介した方がよい
- ・仕様書にふさわしくない表現は削除すべき
- ・記載サンプルがほしい。

上記に対して以下の対応とする。

- ・以下のMandatoryは追加する
→すべてを受け入れると、Liteではなくなるのでは？
→追加は、以下の4項目のみなのでOK
(他にMandatoryで追加するものは見当たらなかった)。

2.1 SPDX Version

2.2 Data License → 迷ったらCC0で入れるとのことをガイドラインに記載する。

2.3 SPDX Identifier →他のSPDXの文書と区別するための記号を記載するもの

2.9 Created (date)

- ・Rationale列はカットする。
- ・SPDX-Liteの仕様は、SPDXを参照し、Mandatoryかどうかの二重定義はしない。
- ・日本で作成するガイドラインやEXCELにはオプションか必須を書く。
- ・仕様の説明として、なぜ、この項目をピックアップしたかを英語で記載しているので、レビューしてほしい。
- ・Relationshipは入れない。
(個別のビジネスにより異なるため、必要な場合は、SPDXを利用する前提)
- ・サンプルについては、AGLの例もGITHUBに追加する。
ffmpegの例は既に以下に登録済

https://github.com/OpenChain-Project/Japan-WG-General/blob/master/License-Info-Exchange/SPDX-Lite-sample/ffmpeg/SPDX-Lite-sample_ffmpeg.xlsx

2.ガイドラインの作成

slackにて以下のコメントがあった。

- ・必要なライセンス情報を作成する手順を示す」という目的から離れないように。
- ・項目を抜き出した理由が不明

・その他

@owadaさんのコメントに対して、slackにて伊藤さんが以下のコメントを記載済

頭書きとして、SPDX Liteを起草した理由を記載します。

サプライチェーンにおけるライセンスへのコンプライアンス維持のために、必須であり、且つ最低限の定義を行うことが必要であると考え、SPDX Liteを定義しました。

実ビジネスで運用されていて実績のあるデータを集め、それらを、定義するために十分な内容としています。

一方、ツールによるライセンス情報のスキャンにより得られる情報は、えてして膨大なものとなり、一部手作業によるライセンス処理を含む実ビジネスにおいて、コンプライアンス

維持の上で課題となっていることも事実です。

したがって、ツールによるライセンス情報収集と並行して、手作業・目視によるライセンス

情報授受が可能な項目をリストアップしています。

といった、文言を追加します。

◆議論中の注意書き(備忘)

- ・Full SpecのSPDXへの誘導を行うべきか
- ・行うなら、どのような場合にFull SpecのSPDXが望ましいか
- ・SPDX Liteの位置づけ(簡易版なのか、目的を絞った凝縮版なのか)によるので、議論を継続する

◆議論中の注意書き(備忘)

- ・リーフレットにあった、「こんな情報が必要」という文言の引用をすべき
- ・上流から下流まで、一貫して流れていくことを勧奨することを述べたい(相対の二社間で終わる話としない)
- ・SPDXのAppendixへのPull Reqが通ったら、Referをするが、削られた「背景説明」

「取捨選択の議論背景」は、こちらに記載することになる。

- ・modification recordの議論

→Package Commentの記載内容の一つにする

- ・Build OptionについてもPackage Commentの記載内容になるので、Package Commentに

記載すべき内容を整理して、ガイドラインに記載をする。

■次回

- ・8月6日(火)午後
- ・会議場所を募集中

以上